

3 学期終業式校長挨拶(2023 年 3 月 22 日)

高 3 三学期講座で教科の枠を超えて行われた性教育の 2 つの実践例・生徒の感想を紹介します。1 つは「月経について知ろう」という WS で、災害時に生理用品を被災者に配るという想定で、グループごと異なる生理用品を実際に手に持って使い方を調べ、気づきを発表しました。受講した生徒の感想の中には「月経に対処する道具だけでも、想像以上の種類があり、さらにそれにかかる費用も桁違いであった。男に生まれたとはいえ、自分がここまで月経について知らなかったことに驚いた。」というものでした。

もう 1 つの講座「性と社会」では「生理の貧困」について学び自分たちにできることは何か考え合いました。次の感想がありました。「生理に関することは少し恥ずかしいイメージがあるけれど、一緒に講座を受けた男子が『自分のことだから、恥ずかしいと思うのが腑に落ちない』と言ったことが印象的で、そのような考えのできる人が増えたらいいなと思った」また「人それぞれの体の悩みに対して偏見のない社会にしたい」とありました。

ユネスコなどが共同で発表した「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」は、質の高い包括的性教育の指針です。これは人権とジェンダー平等を尊重し、子どもや若者が健康で安全で生産的な生活を送れるようになることを目標としています。本校でも、保健室をセンターに先生方も本気で学び合っています。生活をよりよくすることを目的に、次年度も身近な課題について大人も子どももみんなで考える対話的で深い学びを創っていきましょう。